



院内インフォメーション

今年4月以降より、65歳の方などへの带状疱疹ワクチンの予防接種が定期接種の対象となる予定です。带状疱疹とはどんな病気か、学んでみましょう。

そもそも带状疱疹とは

带状疱疹とは、多くの方が子どもの頃に感染する病気・水ぼうそうと同じ種類のウイルス＝『水痘・带状疱疹ウイルス』が原因で発症する病気です。

幼少期にかかった水ぼうそうは、約1週間で症状は治まります。しかし実はウイルスだけが背骨付近の神経内に完治後も潜んでおり、加齢・疲労・ストレスなどによって免疫機能が低下すると再び目覚め、動き出すのです。こうして形を変え発症したものが、带状疱疹です。

後遺症に気をつけて

皮膚症状が治まった後も、神経の損傷により痛みが残り続けることがあります。これを『带状疱疹後神経痛』と呼び、重症だと数カ月～数年に渡り痛みが続きます。

発症部位によっては、体や顔面の麻痺・難聴・角膜炎・排尿障害といった合併症を引き起こすこともあります。

主な症状

体の左右どちらか片側の神経にそってピリピリした痛みや違和感・かゆみが生じる。同時に、赤い発疹と水ぶくれが带状に発生する。



かかりやすい人

- 50歳以上の方、ご高齢の方
- 疲労、ストレスを抱えている方
- 糖尿病など基礎疾患のある方

予防ワクチンを受けよう!

ご予約:045-434-5600



美容皮膚科・健康管理

菊名記念AAクリニック

〒222-0011 神奈川県横浜市港北区 菊名4-3-17 第2青木ビル
菊名駅&菊名記念病院から徒歩4分! 詳細QRコードへ▶



編集後記

春です。この冊子がお手元に届く頃には、もうシロツメクサがあちこちで咲いているのではないのでしょうか。さて誰もが知るとおり、シロツメクサは別名クローバーとして親しまれています。『四つ葉のクローバー＝幸運の象徴』で有名ですが、白い花の部分にはある秘密が隠されています。一つの花に見えますが、実は小さな花が集まってできた集合体なのです。全職員が個々の力を持ち寄ることで、より大きな『地域貢献』の花を咲かせられるよう見習いたく思います。 広報戦略部 宇田川

当院の基本理念 私たちの病院の使命-Mission- 質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します。



当院の英語表記であるKikuna Memorial Hospitalの頭文字(KMH)からデザインされました。



日本医療機能評価機構 認定病院 (3rdGVer.2.0)



JQA-QMA14243 ISO9001:2015 認証取得病院



ピンクリボン運動を応援します。

ひかり

vol.144
2025.3
ご自由にお持ちください

Kikuna Memorial Hospital News Letter



Contents

- 特集 循環器センターの取り組み
- 看護部だより
- なるほど!リハビリ科新聞 vol.3
- 院内行事紹介
- MONTHLY TOPIC



医療法人五星会 菊名記念病院

〒222-0011 横浜市港北区菊名4-4-27
【TEL】045-402-7111 (代表) 【FAX】045-402-7331
【URL】http://kmh.or.jp/ 【MAIL】kikuna@kmh.or.jp

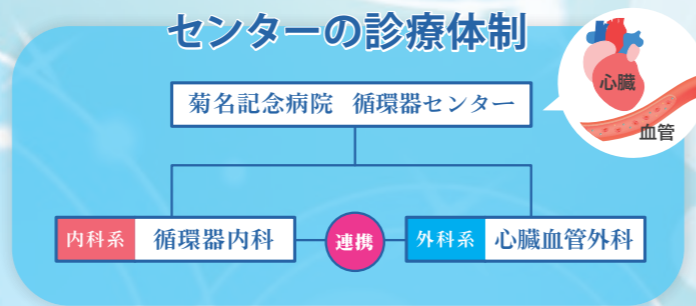
-特集- 循環器センターの取り組み

~24時間365日の救急対応で、あなたのそばにいつも安心を~

菊名記念病院 循環器センターとは

菊名記念病院は、急性期医療特化型の病院です。24時間365日、緊急手術・カテーテル治療にも対応可能な診療体制を整えており、診療科を超えた連携・一体感・スピード感をもって診断と治療を提供すべく取り組んでおります。

循環器センターでは、**循環器の病気=心臓と血管の幅広い血管疾患**に対応すべく、**循環器内科医と心臓血管外科医が協力**しあい、『地域社会への貢献』をモットーに患者さま1人ひとりに応じた高度医療を提供しています。体調がすぐれぬ時・かかりつけ医の先生から精密検査を進められた時は、ぜひご相談ください。



センターの3つの特徴

1.

24時間365日、
循環器センターの医師が
いつでも対応

循環器内科/心臓血管外科の病気が疑われる患者さまに対し、センターの医師がいつでも救急対応をいたします。突然の発症後、急激に病状が悪化し急な死に至る疾患の代表である『急性心筋梗塞』に対しても、24時間365日・緊急カテーテル治療を行える体制を整えています。

2.

循環器内科と心臓血管外科
常に2科の連携が
とれた診療を提供

心臓病・動脈疾患・静脈疾患などの循環器系の病気には、循環器内科での治療が望ましい病状/心臓血管外科での治療が望ましい病状/循環器内科と心臓血管外科で合同での治療が望ましい病状の3種類があります。当院は2科の連携で患者さまにとって常に最良の選択肢の提案を心がけています。

3.

10年後20年後も
患者さまに元気で過ごし
いただく事を目指した診療

循環器の病気には、年齢を経るごとに進行する病気もあり(狭心症や心筋梗塞、慢性心不全など)、その様な方向けに10年・20年後もお元気で過ごせるよう、当院の受診案内のお手紙を年1回程の間隔でお届けします。定期的な心臓病の評価を通じ、かかりつけの先生との綿密な連携の下治療を進めます。

循環器系の
疾患は迅速な対応が
治療のカギとなります。

当院では地域の
クリニックの先生方からの
ご紹介も受け付けています。
お気軽にご相談ください。

治療対象の疾患

- 心不全
- 虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)
- 閉塞性動脈硬化症
- 不整脈
- 心臓弁膜症
- 胸部/腹部大動脈瘤
- 肺塞栓症(エコノミークラス症候群)
- 下肢静脈瘤



センター長よりご挨拶 『すべての人へ、最善の治療を』

まずはじめに、一口に『心臓病』や『血管病』と言っても、その原因・病状は患者さまごとに異なります。動脈硬化が主な原因である『狭心症』『心筋梗塞』などの虚血性心疾患や、足のむくみ・呼吸困難などが現れる『心不全』は比較的多い病気です。心不全の原因は、虚血性心疾患・心臓弁膜症・高血圧性心臓病・心筋症・不整脈など多岐に渡ります。また不整脈にも様々な種類があり、個々の原因に対して適切な治療が必要です。血管の病気としては大動脈瘤や閉塞性動脈硬化症などがありますが、実際にはこれらの病気が複雑に絡み合っていることが多いのです。

当院ではより専門性の高い高度医療の提供を目指し『循環器センター』として各部門毎にスペシャリストを配置し、循環器内科医と心臓血管外科医が協力して最適な治療を行っています。虚血性心疾患をはじめとする動脈硬化性心血管疾患に対するカテーテル治療だけでなく、不整脈に対するカテーテルやペースメーカ治療、大動脈疾患に対するカテーテルや手術など、循環器全般を網羅する専門的治療を行っています。また、心不全や高血圧症に対する薬物治療についても、それぞれの患者さまに適した治療を選択しています。幅広い症状に対応可能ですので、いつでもご相談ください。



もっと詳しく！治療・疾患別の解説

心臓血管外科治療

心臓の病気や大動脈および末梢血管の病気に対して、外科的なアプローチで手術治療するのが最適と判断されたものを指す。

- 主な治療：心臓弁膜症のほか、大動脈瘤などの血管疾患に対する外科的な治療。
- 体に低負担という理由から、大動脈瘤には2007年導入の『ステントグラフト治療*』を治療の第一選択肢にあげることが多い。(※ステントと呼ばれるバネ状の金属を取り付けた人工血管を用いた治療のこと)

虚血性心疾患

動脈硬化や血栓の影響で血液の巡りが悪くなり、心臓に酸素や栄養を供給する血管(冠動脈)が詰まると発症する病気を指す。

- 主な症状：狭心症、心筋梗塞。
- 特に急性心筋梗塞は、時間の経過と共に急激に心臓の筋肉が壊死し、突然死に至る危険があるため要注意。
- 当院では体に低負担なカテーテル治療を得意としている。特に急性心筋梗塞への緊急カテーテル治療は24時間365日対応可能。

末梢動脈疾患(PAD)

全身の動脈の中で主に手足や腎臓に血液を送る動脈を『末梢動脈』と呼び、それが詰まることで血流が低下する病気を指す。

- 主な症状：歩行中の足の痛み(間欠性跛行)、足の傷の治りにくさ。
- 全身の動脈硬化と関連があり、放っておくと心筋梗塞や脳卒中のリスクが上がる。
- 早期診断が予後に大きく影響するため、早めの対処が大切。当院では迅速な検査と診断、2科の連携による適切な治療を提供。

不整脈疾患

脈のリズムや頻度が一定でない状態を指す。脈が速くなる場合(頻脈)・遅くなる場合(徐脈)・不規則になる場合の3パターンがある。

- 主な症状：①頻脈性不整脈→動悸や脈が飛ぶ ②徐脈性不整脈→ふらつき、失神等。
- 無症状の場合もあり、多くの不整脈は経過観察で自然治癒することはない。
- 当院は不整脈専門医資格を持つ医師が在籍。アブレーション、ペースメーカ、薬剤加療など患者さまのニーズにそった治療が可能。



手術実績は
こちらから



当院では多くの看護師が働いています。その中には1つの分野について専門的に学び、最適なケアの提供のために中心的な役割を果たす看護師がいます。今回は“特定行為看護師”の紹介の後編です！

なぜ？教えて！ 特定行為看護師とは

厚生労働省が定める『特定行為に係る看護師の研修制度』を修了した看護師を指し、医師の判断を待たずに一定の診療補助業務(特定行為)を行うことができます。

特定行為は21区分38行為あり看護師経験3年以上で各区分ごとに研修を受けます。



北島課長のコメント



当院には特定行為看護師1名、特定行為研修修了者6名(クリティカル分野2名、周手術期1名、外科分野1名、在宅分野2名)の計7名が在籍しています。臨床推論力などの医学的知識をベースに、手順書を用いタイムリーな処置を行うことが可能です。医師より患者さまの身近なところで、特定行為看護師としての役割を發揮できるよう日々研鑽しています。

- 質問
- 1 修了した区分の役割をおしえて！
 - 2 その区分を選択した理由は？
 - 3 やりがいを感じるのはどんなとき？
 - 4 ズバリ、座右の銘は？
 - 5 休日のリフレッシュ方法は？
- どんな答えが返ってくるかな



- 1 私が修了したのは薬剤投与の基礎的な領域です。主な役割は、脱水患者さまへの補液、糖尿病患者さまに対するインスリン量の調整等です。
- 2 当院で受講できる区分であり、院内だけでなく在宅等地域でも活用できると思ったからです。
- 3 患者さまが快方に向かうことができたときです。

- 4 『無欲は怠惰の基である』お札にもなっている渋沢栄一さんの言葉です。怠惰な人間にならない様、何事にも意欲的に取り組んでいきたいです。
- 5 コロナ禍で控えていましたが、ジムで運動することです。



- 1 私が修了したのは外科系領域です。主な役割は、カテーテルやドレーンの抜去、止血縫合、褥瘡の壊死組織の除去、陰圧閉鎖療法などの処置です。
- 2 褥瘡の分野に興味があり、もっと自分が患者さまに還元できる技術を習得したいと思ったからです。

- 3 褥瘡が良くなったときや相談を受けてチーム全体で患者さまに対応できたときです。
- 4 『やらずに後悔よりやって後悔』やらなかった時の自分を嫌いになるからです。
- 5 押し活/友達と遊ぶ/美味しいご飯を食べる/本を読む



- 1 私が修了したのは薬剤投与の基礎的な領域です。主な役割は、脱水患者さまへの補液の調整と糖尿病患者さまへのインスリン量の調整です。
- 2 当院で開講しており通常業務と並行して受講できるからです。また、アセスメント力を向上させることで、患者さまやスタッフの力になりたいと思ったからです。

- 3 病棟スタッフから相談され、患者さまのことを一緒に考え対応することができたときです。
- 4 『継続は力なり』1つのことを続けることは難しく、でも続けていけば必ず自分の力になると思うから。
- 5 マッサージに行く/気になるお店のランチに行く



ストレッチのすすめ

皆さんストレッチにはどんな印象をお持ちでしょうか。筋や関節の柔軟性を高めたり、けがの予防のために行うイメージでしょうか。そのような効果もありますが、実はそれだけではありません。

最近の研究では他にも以下のような効果が報告されています。

- ① 血管の柔軟性を高め、動脈硬化を防ぐ。
- ② 血管を広げ、血流量を増やす。
- ③ 血圧を下げる。
- ④ 自律神経を整えるリラクゼーション効果。



ストレッチの効果を十分に得るためにはやり方が重要になります。

しっかりと
筋や血管が伸びた状態

※痛いところまで我慢して伸ばさないでください

自分で「筋肉が伸ばされている」と自覚できるくらい

最低でも
20秒以上
保持すること

いくつか簡単なストレッチを紹介しますので、無理のない範囲で行ってみてください。



ふくらはぎのストレッチ

足を前後に開き、後ろの脚は、かかとを床につけて膝を伸ばしたまま前の脚の膝を曲げ、ふくらはぎが伸びていると感じながら20秒保持

上半身のストレッチ①

椅子に座り、両手を組んで肘を伸ばしたまま腕を頭の方に挙げて20秒保持

上半身のストレッチ②

椅子に座り、両手を組んで肘を伸ばしたまま腕を前方へ伸ばしつつ背中を丸めて20秒保持



腿裏のストレッチ

椅子に浅く座り、片方の脚を前に出して膝を伸ばし、そのまま上半身を前に倒して腿の裏が伸びていると感じながら20秒保持



院内行事紹介

2025.1.1～2.28

菊名記念病院のHOTな
ニュースをご紹介します。



NEWS1 1/4 新年初顔合わせ

当院屋上にて、毎年恒例の『新年初顔合わせ』を行いました。当日は2025年の始まりにふさわしく雲一つない晴天に恵まれ、清々しい雰囲気の中で式の進行ができました。医局や各部署の所属長が集まって挨拶を交わし合い、新たな年の幕開けに向けて、全員で気を引き締めました。職員一丸となり、より良い病院づくりを目指してまいります。地域の皆さまのお役に立てるよう、新年も変わらず精進いたしますので、2025年もどうぞよろしくお願いいたします。



NEWS3 1/31 保育室 節分

鬼は外福は内！保育室にも鬼がやってきました。歌や絵本を通してかけ声練習はしていましたが、鬼の登場にはやはり顔をこわばらせる子どもたち。反応は様々でしたが最後は皆で写真を撮ることができました。子どもたちに沢山の福が舞い込めますように！



NEWS2 1/18 令和7年 YMG新年会

新年の恒例行事『YMG新年会』を行いました。この会は、当院の所属する横浜メディカルグループで年1回行われている職員向けの親睦会で、毎年多くの職員が参加する大規模なイベントです。対外発表を行った職員に対する表彰・外部講師を招いた講演会・グループ内の1年間の目標の共有・立食パーティーなど様々な催しを通じ、新たな1年の始まりに向け士気を高め、今年約450名の職員が集まり、心持ちも新たに団結力を高め合うことができました。



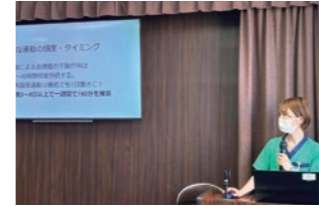
NEWS4 2/20 初午祭

菊名神社の宮司様をお迎えし、屋上にて初午祭を行いました。“初午(はつうま)”とは、2月最初の午の日を指します。稲荷神社の縁日でもあることから、当院では毎年祭事を行っています。当日は青空が視界一面を覆うほどの天候に恵まれ、無事参加者一同で患者さまの健康と1年間の泰安をお祈りすることができました。今後も職員一同力を合わせ、安心・安全な病院運営に取り組んでまいります。



NEWS5 2/25 第163回 糖尿病教室

第163回の糖尿病教室は、いつも大好評のランチオンセミナーを行いました。糖尿病食を実際に食べることでできる“糖尿病食体験”を中心に、一緒に実践できる運動療法まで、充実のテーマでお届けしました。また、糖尿病食のメニューでは麦ごはん・鶏肉の南蛮漬け・小松菜の辛し和え・根菜サラダ・卵とわかめの味噌汁と、ヘルシーかつ鮮やかで食べ出のあるものをご用意し、大盛況のもと終了しました。



BREAK 1 今月の表紙紹介



3月号の表紙は…
『朝日に照らされる満開の桜と菜の花』
桜・菜の花・青空。
3つの自然が見事に融合した1枚です。豊かな色彩からは春の息吹と溢れる生命力が感じられ、まるで様々な人の門出を応援しているようです。

BREAK 2 最新の診療担当表

当院の外来は、完全予約制です。曜日ごとの診療スケジュール・ご予約窓口の番号は、隣に記載されているQRコードからご参照いただけます。ぜひご参照ください。

携帯やスマートフォンからアクセスが可能です。



KENSAN - 研鑽 -

volume. 19

当院では、様々な人材育成研修に取り組んでいます。院全体で次世代スタッフを育てるべく、参加者も真摯に研鑽を積んでいます。当コーナーではその学びの様子を紹介します。

KEN SAN 1 11/20 人材開発室主催研修 トランスファー講習

コメディカルスタッフやキャリア採用の看護師・看護補助者向けにトランスファー講習(移乗動作の介助方法講習)を開催しました。患者・介助者双方にやさしい介助方法の習得を目標にしましたが、日頃からトランスファーを行っている受講者からも「知らないことがたくさん学べた」などの声があがり、充実した内容となりました。今後も医療の質向上・スタッフの質向上に繋げていけるよう、様々なテーマの研修会を企画・開催し取り組んでまいります。



KEN SAN 2 1/18.25 看護部主催研修 第10回新人研修 医療安全フォローアップ

医療安全フォローアップとして『急変時の対応、インシデントが生じた際の対応』について、医療安全管理室室長より過去の重大医療事故事例・確認方法・事故発生時の対応・急変時事故について講義がありました。他にも臨床工学技士長からは除細動器の使用方法等の講義を受けました。またSNSの取り扱い方法について講義があり、改めて医療人として個人情報保護について深く考える研修となりました。

